

東南アジア、中国、インドの経済見 通し 2023 年最新版：要旨

本書は英語版もあります：

OECD (2023), *Economic Outlook for Southeast Asia, China and India 2023 - Update*, OECD Publishing, Paris, <https://doi.org/10.1787/cd94bcf6-en>.

新興アジア経済の成長は外部からの逆風に対処する必要がある

新興アジア経済は、外需の持続的な低迷に対処する上で課題に直面するだろう。先進国経済の景気減速が長期化する中、ASEAN の輸出は大幅な縮小に見舞われた。堅調な個人消費は、この地域の経済成長の主要な原動力であり続けるだろう。拡大するサービス部門は供給側からの成長も促進し、この地域の労働市場を活性化させるだろう。渡航制限が完全に撤廃されたことで、同地域の観光部門の急成長が期待される。新興アジア域内の輸出市場の統合の深化と域内貿易は、世界経済の減速が輸出に与える影響に対処するのに役立ったが、外需の弱体化は引き続きリスクとなっている。その他、地政学的緊張、気候変動、自然災害などが持続的リスクとなる。

全体として ASEAN の実質 GDP 成長率は 2023 年に弱まる見込みだが、見通しは国によって異なる。例えば、インドネシアの GDP 成長率は引き続き旺盛である一方、ミャンマーの成長の勢いは弱いままである。

地域需要と内需が成長を支える

高い消費マインドと中間層の拡大に支えられた内需、特に個人消費が経済成長を牽引している。堅調な域内需要によって域内貿易は活況を呈しており、商品輸出が低迷する中、域内の経済成長を支えている。国際観光業の回復と、サプライチェーンに連動したサービスや国境を越えたサービスなどの新興産業の急速な発展に支えられ、同地域におけるサービス輸出のシェアは拡大し続けるだろう。外国直接投資 (FDI) の流入は、低迷する輸出部門に弾みをつけると期待されている。

金融市場は比較的安定しているが、金融政策の操作は慎重に行わなければならない

インフレ率指数が低下しているにもかかわらず、域内の数カ国ではコアインフレが続いている。適時適切な金融政策は、消費者物価指数 (CPI) 上昇圧力を抑制し、経済成長を維持するのに役立つだろう。新興アジアの金融市場は比較的安定しているが、先進国の金融政策の変化や世界市場のボラティリティが課題となる可能性がある。例えば、この地域の通貨は 2022 年の価値下落から回復しつつあるが、資本逃避の可能性や継続的なポートフォリオ流出のリスクは残っている。金融政策決定者はこのことを念頭に置き、金融市場の安定と力強い成長を確保するために政策調整を慎重に行わなければならない。

労働市場に回復の兆し

前向きな見通しが、新興アジアの労働市場を刺激するために上手く連携している。失業率は全地域で低下しており、特に人口が若く教育水準が高い地域で顕著である。グローバル・サプライ・チェーンやグローバル・バリュー・チェーンへの統合のための直接投資を促進する政策は、特に電子機器、繊維、自動車分野で役立つだろう。